

温観だけが観光協会ではない！

他の地区観光協会も苦しい！

■9月1日の臨時議会の一般会計予算（3号）加速化交付金事業

・国の地方創生加速化交付金 4,465万円が町に交付されることとなった。
これは、行政の尽力のたまものであり、多いに評価されることではあるが、しかし.....

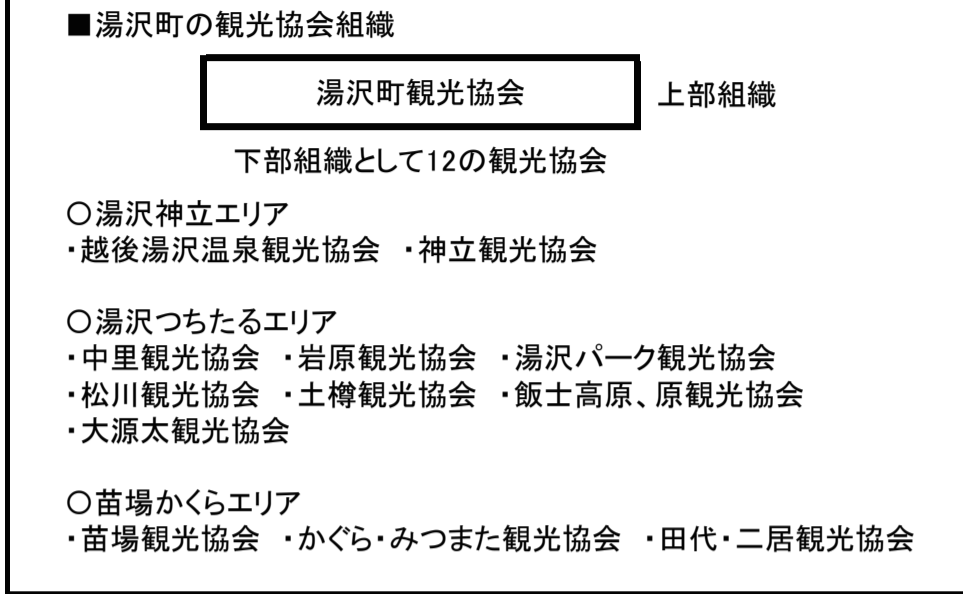
	申請額	交付額
●加速化交付金	80,000,000 円	44,650,000 円
・先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業	73,000,000 円	44,650,000 円
・若者の発想力を稼ぐまちへの活力とするための湯沢町企業支援センター設立、運営事業	7,000,000 円	0 円

●事業内容	申請額	交付額	実施主体
・先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業	73,000,000 円	44,650,000 円	
①ビッグデータ解析	11,500,000 円	11,500,000 円	
1 ローミングデータによる解析	6,000,000	6,000,000	湯沢町
2 Wi-Fi ゲートウェイからの解析	5,500,000	5,500,000	温観
②商品企画造成	7,050,000 円	7,050,000 円	
3 着地型旅行商品開発事業補助金	2,000,000	2,000,000	湯沢町
4 着地型旅行商品開発人材育成	2,500,000	2,500,000	雪国
5 着地型旅行商品開発用備品	1,000,000	1,000,000	町観
6 映像機材購入	950,000	950,000	町観
7 映像撮影編集研修会講師	600,000	600,000	町観
③商品企画造成	22,100,000 円	22,100,000 円	
8 国内外商談会	7,500,000	7,500,000	町観
9 マスコミ、旅行会社招聘	3,000,000	3,000,000	町観
10 SNSによる情報発信	7,500,000	7,500,000	雪国
11 Webスタンプラリー	1,600,000	1,600,000	温観
12 Web広告	1,500,000	1,500,000	温観
13 Web情報発信研修会講師	1,000,000	1,000,000	町観
④受入態勢整備	32,350,000 円	4,000,000 円	
14 ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
15 ICTを活用した免税システム導入	550,000	-	温観
16 最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観
17 海外クレジットカード対応による訪日外国人観光客受入体制整備	500,000	-	温観
18 多言語映像通訳システム導入	5,800,000	-	温観
19 フリーWi-Fiを活用したワンストップゲートウェイ整備	4,500,000	-	湯沢町
20 多言語飲食店マップ、歩行者向け案内看板整備	3,200,000	3,200,000	雪国
21 言語研修会講師	800,000	800,000	町観
合計	73,000,000 円	44,650,000 円	

交付金申請額合計	73,000,000 円	申請額合計の%
町観申請額合計	14,850,000	20.34 %
温観申請額合計	32,450,000	44.45 %
雪国申請額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町申請額合計	12,500,000	17.12 %

実施予算額	53,150,000 円	実施予算額%
町観予算額合計	14,850,000	20.34 %
温観予算額合計	8,600,000	23.42 %
町補助金の850万	8,500,000	
雪国予算額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町予算額合計	8,000,000	10.96 %

※湯沢町観光協会は町観、越後湯沢温泉観光協会は温観、雪国観光圏は雪国と略します。



■加速化交付金申請の疑問箇所

・行政は、湯沢町総合計画後期基本計画を作成。その後の地方創生の動きが見えず、議会の地方創生特別委員会でも流れが見えない状態が続いた。その間、いつのまにか、申請された内容が下記の2件

「先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業」（※この後「先進的ICT利活用申請事業」と略します。）

「若者の発想力を稼ぐまちへの活力とするための湯沢町企業支援センター設立、運営事業」
・この2件がどのような会合のもと申請されたのかは不明であり、行政内の部長会議がうまく機能していないのでは？

・申請時点での「先進的ICT利活用申請事業」の実施主体の「越後湯沢温泉観光協会」の申請額44.45%は高すぎる。

交付金申請額合計	73,000,000 円	申請額合計の%
町観申請額合計	14,850,000	20.34 %
温観申請額合計	32,450,000	44.45 %
雪国申請額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町申請額合計	12,500,000	17.12 %

・それぞれの地区観光協会は、湯沢町観光協会の中で協力し、イベント等で湯沢町の観光活動を助け合っているものと理解していた。にもかかわらず、湯沢町観光協会の下部組織である「越後湯沢温泉観光協会」だけがなぜ優遇されるのか？

■9月1日の臨時議会の一般会計予算（3号）加速化交付金事業発議

●加速化交付金	申請額	交付額	交付額
④受入態勢整備	17,000,000 円	0 円	主体
14 ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
16 最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観

○発議内容は、加速化交付金 44,650,000 円の実施と認められなかった上記 17,000,000 円を「温観」が半額の 8,500,000 円、「町観」の予算から半額の 8,500,000 円を充当する発議。

賛成 10人 反対 1人 可決

■この発議の疑問箇所

・申請が認められなかった事業に、一度予算が付いている「町観」予算から 8,500,000 円をなぜ充当するのか？

・行政は「温観」が自立するためだと説明するが、それぞれの「地区観光協会」も自立したい。
・「温観」が予算がほしいのであれば、行政が判断するのではなく「町観」に正々堂々と申請し、「町観」が認めるのが筋だ。

・交付金を使用しないのだから「ホームページ」を「町観」でなぜ作成することはできないのか？



第007号 2016/06/27

並木としひこ後援会
Donco 新聞



DoncoWeb

949-6103 南魚沼郡湯沢町大字土樽 232

070-2155-3047

<http://donco.jp>

toshi@snow.co.jp

<http://facebook.com/toshi.donco>

温観だけが観光協会ではない！

他の地区観光協会も苦しい！

■9月1日の臨時議会の一般会計予算（3号）加速化交付金事業

・国の地方創生加速化交付金 4,465万円が町に交付されることとなった。
これは、行政の尽力のたまものであり、多いに評価されることではあるが、しかし.....

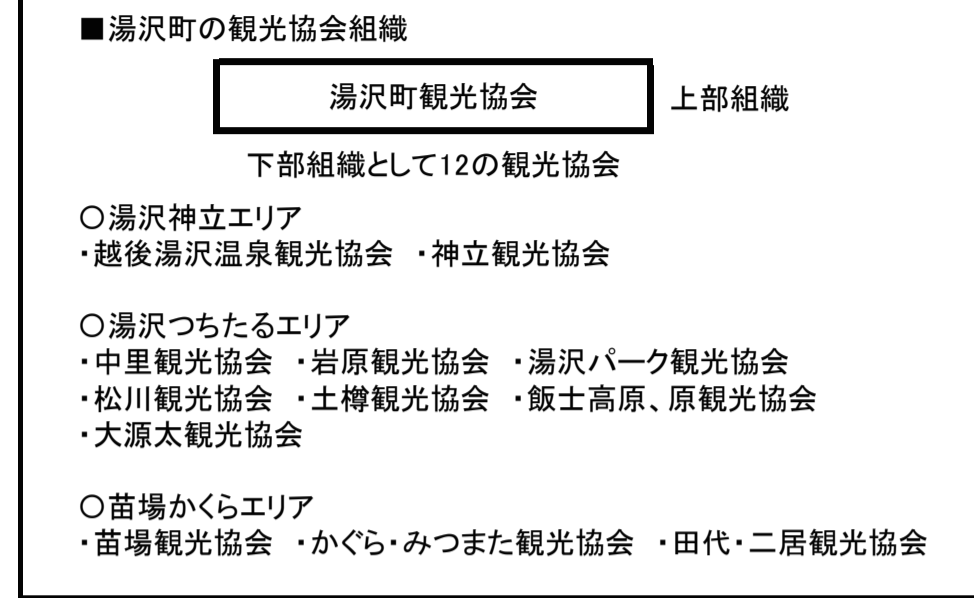
	申請額	交付額
●加速化交付金	80,000,000 円	44,650,000 円
・先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業	73,000,000 円	44,650,000 円
・若者の発想力を稼ぐまちへの活力とするための湯沢町企業支援センター設立、運営事業	7,000,000 円	0 円

●事業内容	申請額	交付額	実施主体
・先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業	73,000,000 円	44,650,000 円	
①ビッグデータ解析	11,500,000 円	11,500,000 円	
1 ローミングデータによる解析	6,000,000	6,000,000	湯沢町
2 Wi-Fi ゲートウェイからの解析	5,500,000	5,500,000	温観
②商品企画作成	7,050,000 円	7,050,000 円	
3 着地型旅行商品開発事業補助金	2,000,000	2,000,000	湯沢町
4 着地型旅行商品開発人材育成	2,500,000	2,500,000	雪国
5 着地型旅行商品開発用備品	1,000,000	1,000,000	町観
6 映像機材購入	950,000	950,000	町観
7 映像撮影編集研修会講師	600,000	600,000	町観
③商品企画作成	22,100,000 円	22,100,000 円	
8 国内外商談会	7,500,000	7,500,000	町観
9 マスコミ、旅行会社招聘	3,000,000	3,000,000	町観
10 SNSによる情報発信	7,500,000	7,500,000	雪国
11 Webスタンプラリー	1,600,000	1,600,000	温観
12 Web広告	1,500,000	1,500,000	温観
13 Web情報発信研修会講師	1,000,000	1,000,000	町観
④受入態勢整備	32,350,000 円	4,000,000 円	
14 ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
15 ICTを活用した免税システム導入	550,000	-	温観
16 最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観
17 海外クレジットカード対応による訪日外国人観光客受入体制整備	500,000	-	温観
18 多言語映像通訳システム導入	5,800,000	-	温観
19 フリーWi-Fiを活用したワンストップゲートウェイ整備	4,500,000	-	湯沢町
20 多言語飲食店マップ、歩行者向け案内看板整備	3,200,000	3,200,000	雪国
21 言語研修会講師	800,000	800,000	町観
合計	73,000,000 円	44,650,000 円	

交付金申請額合計	73,000,000 円	申請額合計の%
町観申請額合計	14,850,000	20.34 %
温観申請額合計	32,450,000	44.45 %
雪国申請額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町申請額合計	12,500,000	17.12 %

実施予算額	53,150,000 円	実施予算額%
町観予算額合計	14,850,000	20.34 %
温観予算額合計	8,600,000	23.42 %
町補助金の850万	8,500,000	
雪国予算額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町予算額合計	8,000,000	10.96 %

※湯沢町観光協会は町観、越後湯沢温泉観光協会は温観、雪国観光圏は雪国と略します。



■加速化交付金申請の疑問箇所

・行政は、湯沢町総合計画後期基本計画を作成。その後の地方創生の動きが見えず、議会の地方創生特別委員会でも流れが見えない状態が続いた。その間、いつのまにか、申請された内容が下記の2件

「先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業」（※この後「先進的ICT利活用申請事業」と略します。）

「若者の発想力を稼ぐまちへの活力とするための湯沢町企業支援センター設立、運営事業」
・この2件がどのような会合のもと申請されたのかは不明であり、行政内の部長会議がうまく機能していないのでは？

・申請時点での「先進的ICT利活用申請事業」の実施主体の「越後湯沢温泉観光協会」の申請額44.45%は高すぎる。

交付金申請額合計	73,000,000 円	申請額合計の%
町観申請額合計	14,850,000	20.34 %
温観申請額合計	32,450,000	44.45 %
雪国申請額合計	13,200,000	18.08 %
湯沢町申請額合計	12,500,000	17.12 %

・それぞれの地区観光協会は、湯沢町観光協会の中で協力し、イベント等で湯沢町の観光活動を助け合っているものと理解していた。にもかかわらず、湯沢町観光協会の下部組織である「越後湯沢温泉観光協会」だけなぜ優遇されるのか？

■9月1日の臨時議会の一般会計予算（3号）加速化交付金事業発議

●加速化交付金	申請額	交付額	交付額
④受入態勢整備	17,000,000 円	0 円	主体
14 ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
16 最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観

○発議内容は、加速化交付金 44,650,000 円の実施と認められなかった上記 17,000,000 円を「温観」が半額の 8,500,000 円、「町観」の予算から半額の 8,500,000 円を充当する発議。

賛成 10人 反対 1人 可決

■この発議の疑問箇所

・申請が認められなかった事業に、一度予算が付いている「町観」予算から 8,500,000 円をなぜ充当するのか？

・行政は「温観」が自立するためだと説明するが、それぞれの「地区観光協会」も自立したい。
・「温観」が予算がほしいのであれば、行政が判断するのではなく「町観」に正々堂々と申請し、「町観」が認めるのが筋だ。

・交付金を使用しないのだから「ホームページ」を「町観」でなぜ作成することはできないのか？



第008号 2016/10/10

並木としひこ後援会
Donco 新聞



DoncoWeb

949-6103 南魚沼郡湯沢町大字土樽 232
070-2155-3047

http://donco.jp toshi@snow.co.jp
http://facebook.com/toshi.donco